

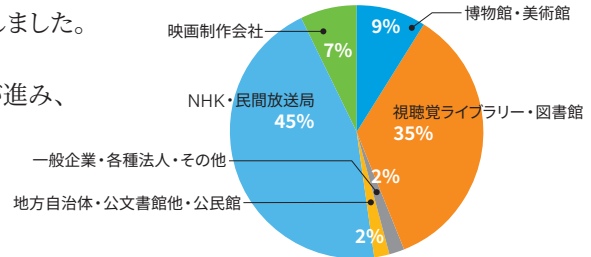
## フィルム所蔵調査

# 日本国内に映画フィルムは何本所蔵されているのか

～平成26～30年度文化庁文化芸術振興費補助事業「記録映画のデジタル保存・活用調査研究」～

4年6ヶ月にわたるフィルム調査で**6,812カ所**に調査票を発送しました。  
回答を得られた3,742カ所の内、**977施設**にフィルムがあり、  
その総数は**561,937本**に及びました。フィルムの多くは劣化が進み、  
所有施設は保存や活用に関する問題を抱えています。

※表の数字は5年間に渡る調査の累計数です。



〈2014年9月～2019年3月合計 調査項目から抜粋〉

調査対象とフィルム所有本数 (フィルム本数は概算です)

📍 フィルムを所有する博物館は多いようです。

調査票送付先	発送箇所数	回答数	フィルム所有施設数	フィルム所蔵総本数
博物館	2,656	1,762	383	48,103
美術館	561	390	51	1,415
視聴覚ライブラリー	501	299	266	176,452
公文書館他	97	68	30	7,301
図書館	1,206	731	117	18,012
公民館	594	186	13	567
一般企業	778	125	32	5,688
各種法人	108	28	10	1,758
地方自治体	49	32	16	5,747
NHK (地方局含む)	54	11	1	110,000
民間放送局	138	85	35	142,559
記録映画制作会社	62	17	16	38,722
その他	8	8	7	5,613
合計	6,812	3,742	977	561,937

※国立映画アーカイブ所有のフィルム数をはぶいた数字です。

うち題名判明 118,863本

いつ頃のフィルムか? (施設数)

📍 戦前のフィルムを所有する施設も多いようです。

所蔵フィルムの年代	全施設合計	美術館	博物館	公文書館他	視聴覚ライブラリー	図書館	公民館	一般企業	各種法人	地方自治体	記録映画制作会社	その他の施設
1945年以前(戦前)	139	7	92	10	11	12	0	5	0	0	1	1
1946～1955年	143	4	70	13	29	11	0	7	0	2	4	3
1956～1970年	375	20	152	23	100	30	3	17	4	7	15	4
1971～1980年	461	22	161	10	167	52	6	16	4	6	15	2
1981～1999年	455	18	129	12	185	57	8	16	6	7	15	2
2000年以降	163	3	23	3	97	16	1	5	2	3	8	2
未確認	185	6	50	3	77	33	3	5	2	5	0	1

放送局が所蔵しているフィルムの撮影(制作)年代(36局中)

1945年以前(戦前)	1946年以降	1956年以降	1971年以降	未確認・無回答
9局	6局	19局	5局	3局

回答をえやすいよう、放送局等は、一部質問形式を変えているため集計表が分かれています。

どんなジャンルのフィルムをどのくらいの数保存しているか?

📍 記録映画を所有する施設が多いようです。

	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数
劇映画(邦画)	1～100本	154	101～200本	12	201～500本	2	500本以上	4	未確認	51
劇映画(洋画)	1～100本	48	101～200本	2	201～500本	2	500本以上	3	未確認	41
アニメ	1～100本	155	101～200本	55	201～500本	38	500本以上	1	未確認	58
記録映画	1～100本	355	101～200本	17	201～500本	13	500本以上	6	未確認	83
教育教材(学校・家庭・社会)	1～100本	208	101～200本	46	201～500本	83	500本以上	56	未確認	85
ニュース映画	1～100本	67	101～200本	3	201～500本	8	500本以上	4	未確認	42
美術作品(実験映画など)	1～100本	34	101～200本	3	201～500本	1	500本以上	0	未確認	31
民俗・無形民俗文化財の記録	1～100本	155	101～200本	3	201～500本	3	500本以上	3	未確認	50
アマチュア・市民の作品	1～100本	75	101～200本	5	201～500本	3	500本以上	1	未確認	34
その他 コレクション等	1～100本	51	101～200本	4	201～500本	5	500本以上	2	未確認	31

博物館・美術館・視聴覚ライブラリー・公文書館・図書館・公民館のみで集計

## デジタル化はどのくらいできているか？ (作品タイトル数)

### 放送局以外

🎯 デジタル化の割合が高いのは公文書館のみです。

	合計	企業、法人、自治体	記録映画制作会社	その他	美術館	博物館	ライブラリー	公文書館他	公民館	図書館
デジタル化有り	21,592	4,994	3,541	208	131	6,329	3,552	2,315	1	521
デジタル化無し	306,949	7,695	134,431	4,996	1,119	20,331	119,605	1,041	540	17,191

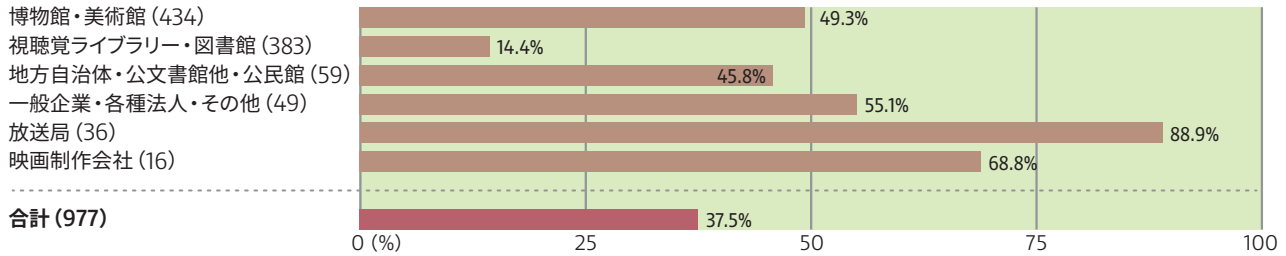
### 放送局

🎯 多くの放送局でデジタル化作業を進めているため、デジタル化の割合は年々増えていると思われます。

デジタル化の割合	すべて完了	9割	8割	7割	5割	4割	2割	未着手	無回答
放送局36社中	44.4%	13.9%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	2.8%	11.1%	2.8%

## デジタル化を進めている施設、団体の割合

🎯 デジタル化のフォーマットを決めかねている施設も多いようです。



## デジタル化できない理由は？ (施設数)

🎯 予算や著作権の問題は大きいようです。

	合計	博物館	美術館	ライブラリー	図書館	公文書館	公民館	企業、法人	放送局	制作会社	その他
著作権上の問題	222	58	7	107	19	8	2	2	11	6	2
予算上の問題	404	156	17	141	40	16	2	17	1	12	2
人員の問題	155	61	7	58	15	4	0	0	10	0	0
過去のフィルム作品について把握できていない	11	0	0	0	0	0		10	0	1	
デジタル化を必要としていない	322	96	10	104	69	7	6	22	6	2	0
その他	104	49	7	19	12	3	3	3	6	1	1

## フィルム所蔵施設現地調査

これまでに108施設を訪問し、現状や問題点について聞き取りを行いました。具体的な質問や相談も多く受けました。

訪問施設	訪問箇所数	状況
博物館・美術館等	50	古い時代のフィルムを所有しているものの、映像内容を確認できないまま常温倉庫に保管し続けている施設が多く見受けられました。
視聴覚ライブラリー・図書館・公民館等	31	数百、数千単位で所有する視聴覚フィルムの保存や活用に悩まされ、廃棄を検討している施設も多くありました。フィルムの劣化も大きな問題となっています。
公文書館・古文書館等	6	紙資料やマイクロフィルムと一緒に、常温管理されているケースが多く見られました。視聴ができない施設が大半でした。
一般企業・地方自治体等	9	過去に制作された自主のPR映画について、保管しているのは当時制作会社から納品されたプリント類で、今現在ネガ原版がどうなっているのか把握ができていないところは少ないようです。
放送局	7	放送局は現在急ピッチでデジタル化を進めています。フィルムを扱えるスタッフはすでにほとんどいなく、すで廃棄してしまったところも多いようです。
映画制作会社	5	自社で管理、または有料倉庫で保管している制作会社もありますが、ある時期に国立映画アーカイブに寄贈したところも多く見受けられます。

## 全国フィルム所有施設検索データベース

記録映画保存センターホームページ内に掲載しています。 [kirokueiga-hozon.jp/search-library/shisetsu-database](http://kirokueiga-hozon.jp/search-library/shisetsu-database)

この調査で提供を受けたリストの作品総数は10万タイトルを越えました。

その中で承諾を得られた275施設の所蔵作品53,653本をWeb公開し、検索可能にしました。(2019年3月現在)

フィルム所蔵施設数	Web公開承諾施設数	Web公開承諾リスト作品数
977	275 / 477	53,653 / 118,863

公開施設内訳＝博物館・美術館：145施設／視聴覚ライブラリー・図書館：105施設／

地方自治体・公文書館他・公民館：17施設／一般企業・各種法人・その他：4施設／映画制作会社：4施設

❖印刷リストのみ提供を受けた施設の作品はデータベース化できていないものもあります。



平成30美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業